

リンパが腫れているけど大丈夫？

和賀クリニック 院長
和賀 一雄 先生

全身に網の目のように張り巡らされた血管。血管は完全防水で、水分が漏れるなんてことはないと思いますよね。ところがところが、実は地下水がしみだすように血管から少量ではありますが、水分が漏れ出ているのです。漏れ出た水分（リンパ液）は体の中をしみわたり、やがて小さな流れとなり、集合して水路（リンパ管）に流れ込みます。では、このリンパ液の流れは何のためにあるのか？この水路を利用して不要な物を捨てているんですね。水路には、所々に検問所（リンパ節）があります。流れ着いたばい菌、ウイルス、癌細胞などは、検問所に待機する警備隊であるリンパ球に発見され、体にとって不要な有害物質と判定されれば抹殺されます。

ばい菌やウイルスがとても元気で、たくさん増えてしまった場合、警備隊のほうも兵力を増員して必死で戦わなければなりません。警備隊が、ばい菌などと戦い戦場となって大きくなった（腫れた）検問所を体の外からリンパ節として触れるのです。皆さんも自分の体をさわってみると1個や2個のリンパ節を触れることがあると思います。見つけやすい場所は、首すじ、腋の下、両足の付け根などです。ばい菌などによる炎症の時に腫れたリンパ節が完全に小さくならないで残っているものです。5ミリ~1センチくらいで筋肉より柔らかいけど脂肪より硬いくらいのものが残っている。このようなリンパ節は、病気の心配をする必要はありません。

一方、ばい菌などによる炎症の特徴（発熱、痛み、発赤）がないのに、リンパ節がどんどん大きく腫れてくる。これは要注意ですよ。検問所（リンパ節）にいる警備隊（リンパ球）そのものが悪性に変化して増える悪性リンパ腫、内臓の癌から癌細胞が転移してきてリンパ節に流れ着き増えてくる癌のリンパ節転移などの可能性があります。

痛みがなく、大きくなる傾向のリンパ節は、しばしば大きな病気のことがあるため、放置せず専門医を受診することが必要です。